

科研費研究プロジェクト【部門B】  
平成29年度第1回研究会報告

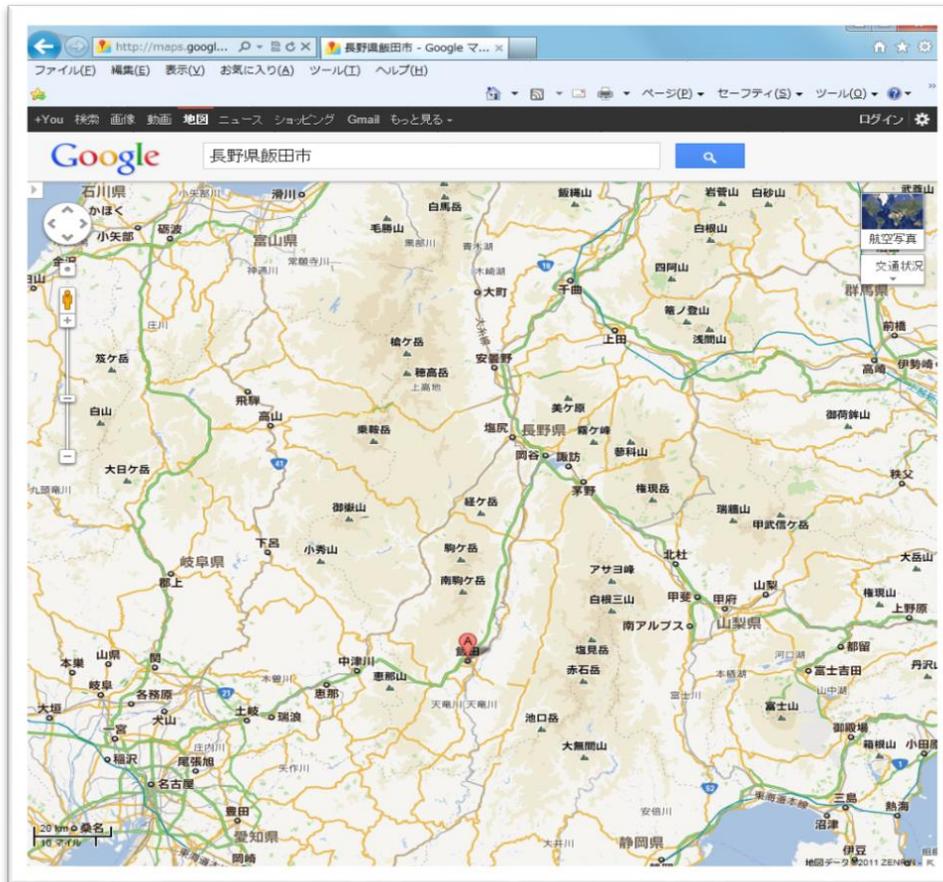
まちづくりにおける「飯田モデル」の検証

—地域自治組織の導入前後における  
「自治の質量」の変化の観点から—



九州大学大学院経済学研究院  
八木 信一  
yatsuki@econ.kyushu-u.ac.jp  
2017年5月30日

# ●長野県飯田市の概況●



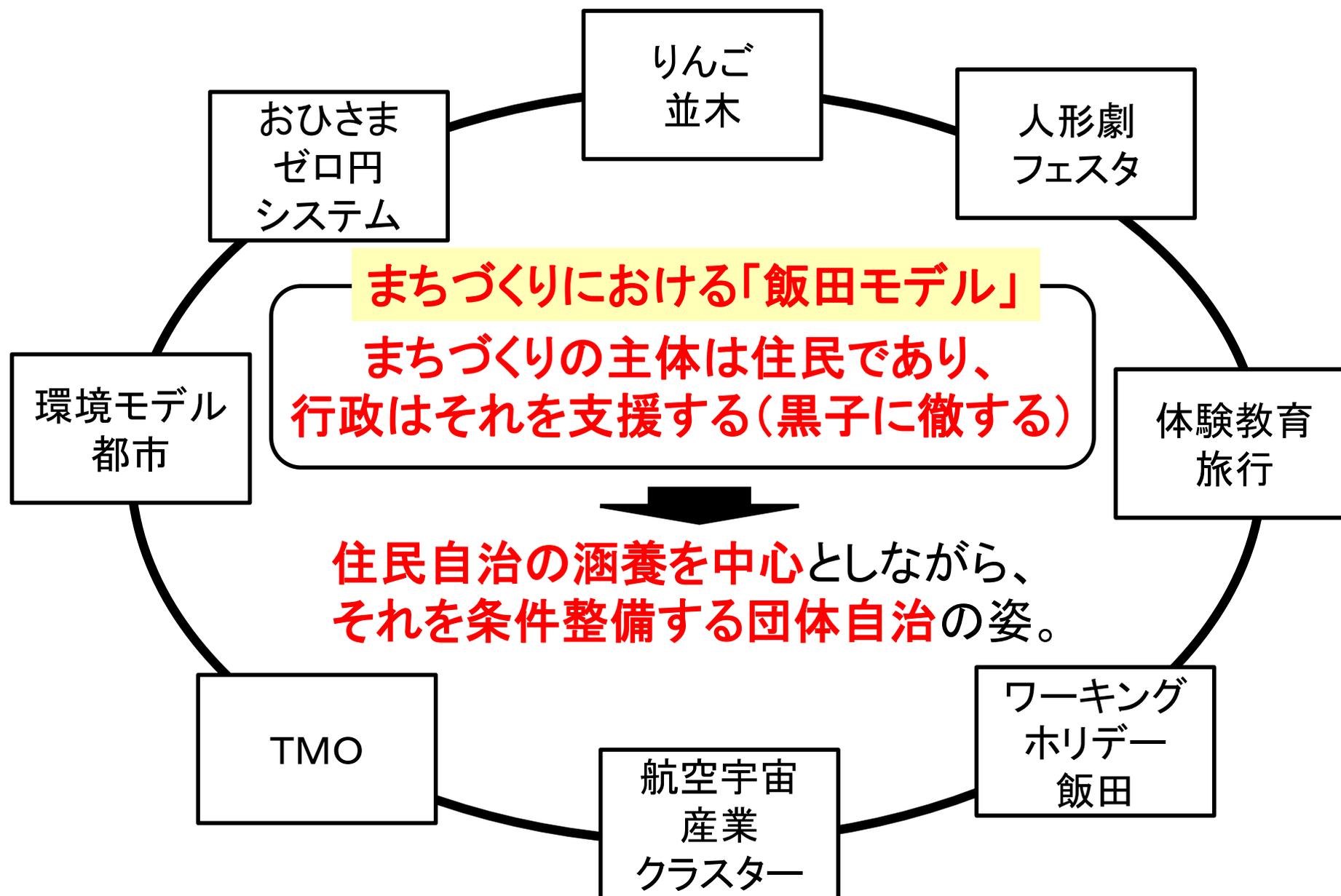
南アルプスを望む



飯田市のシンボル・りんご並木

人口	101,581人	H27年国勢調査
面積	658.73km <sup>2</sup>	
就業構造	第1次:9.3% 第2次:32.4% 第3次:58.3%	H27年国勢調査
財政力指数	0.53	H26年度決算

# ●まちづくりにおける「飯田モデル」とは何か●



## ●「自治の質量」とは何か●

### 【一連の地方自治・財政改革】

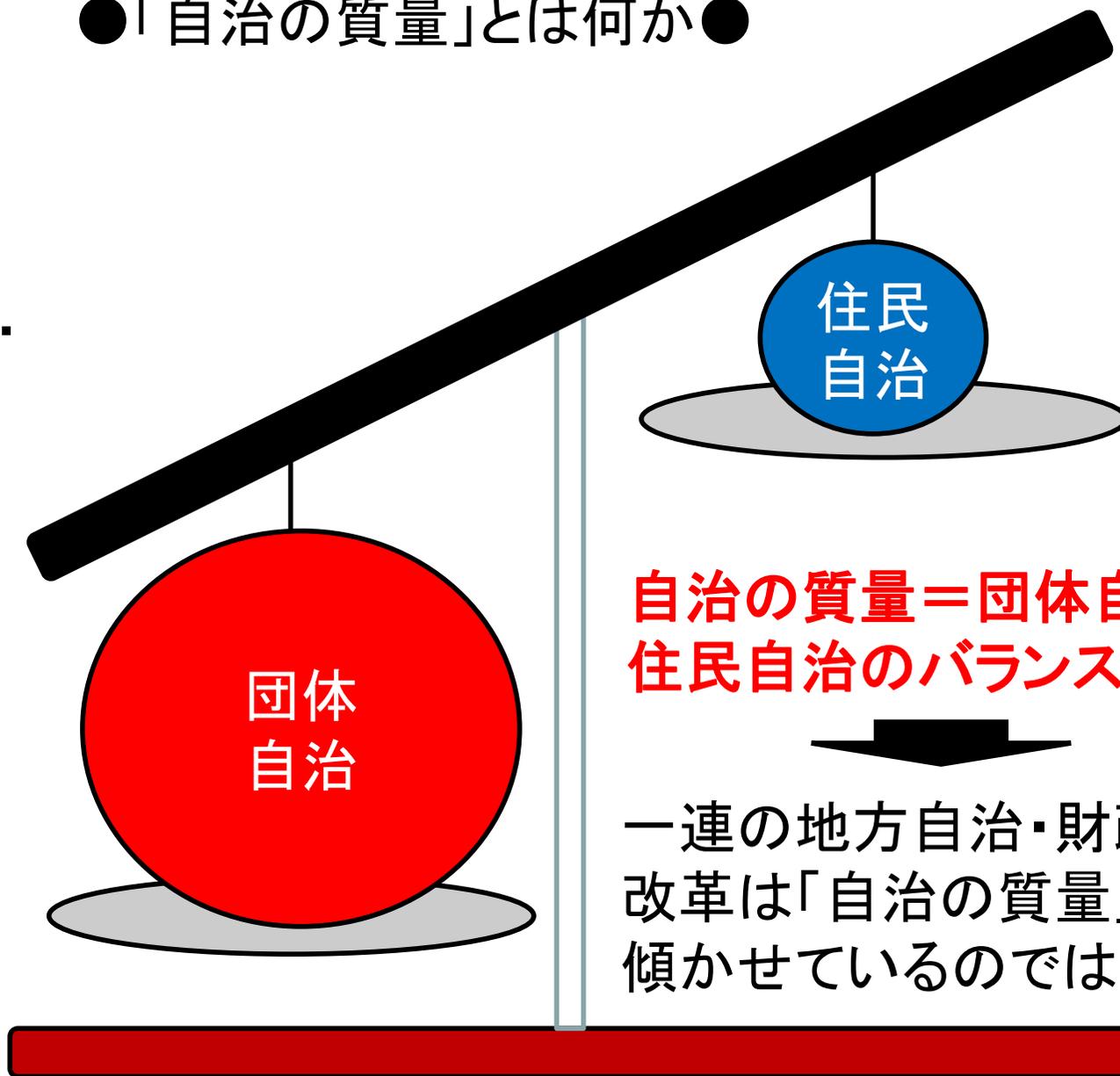
地方分権一括法

三位一体改革

「平成の大合併」

地方財政  
健全化法

地域主権改革

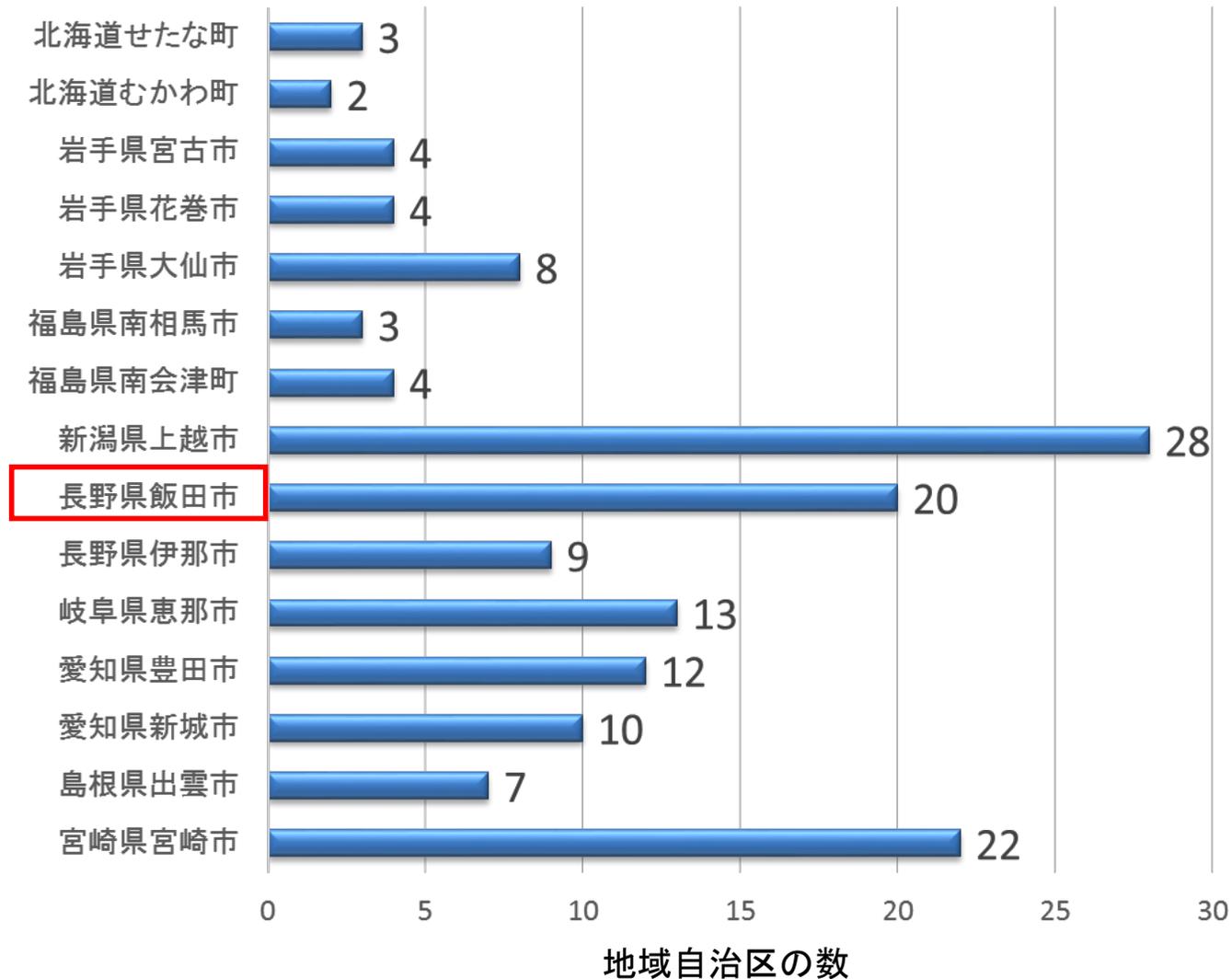


●地方自治組織の起点：  
第27次地方制度調査会の答申（2003年11月）●

**地方分権改革が目指すべき分権型社会においては、地域において自己決定と自己責任の原則が実現されるという観点から、団体自治ばかりではなく、住民自治が重視されなければならない。**基礎自治体は、その自主性を高めるため一般的に規模が大きくなることから、後述する**地域自治組織を設置**することができる途を開くなどさまざまな方策を検討して住民自治の充実を図る必要がある。また、**地域における住民サービスを担うのは行政のみではないということが重要な視点であり、住民や、重要なパートナーとしてのコミュニティ組織、NPOその他民間セクターとも協働し、相互に連携して新しい公共空間を形成していくことを目指すべきである。**

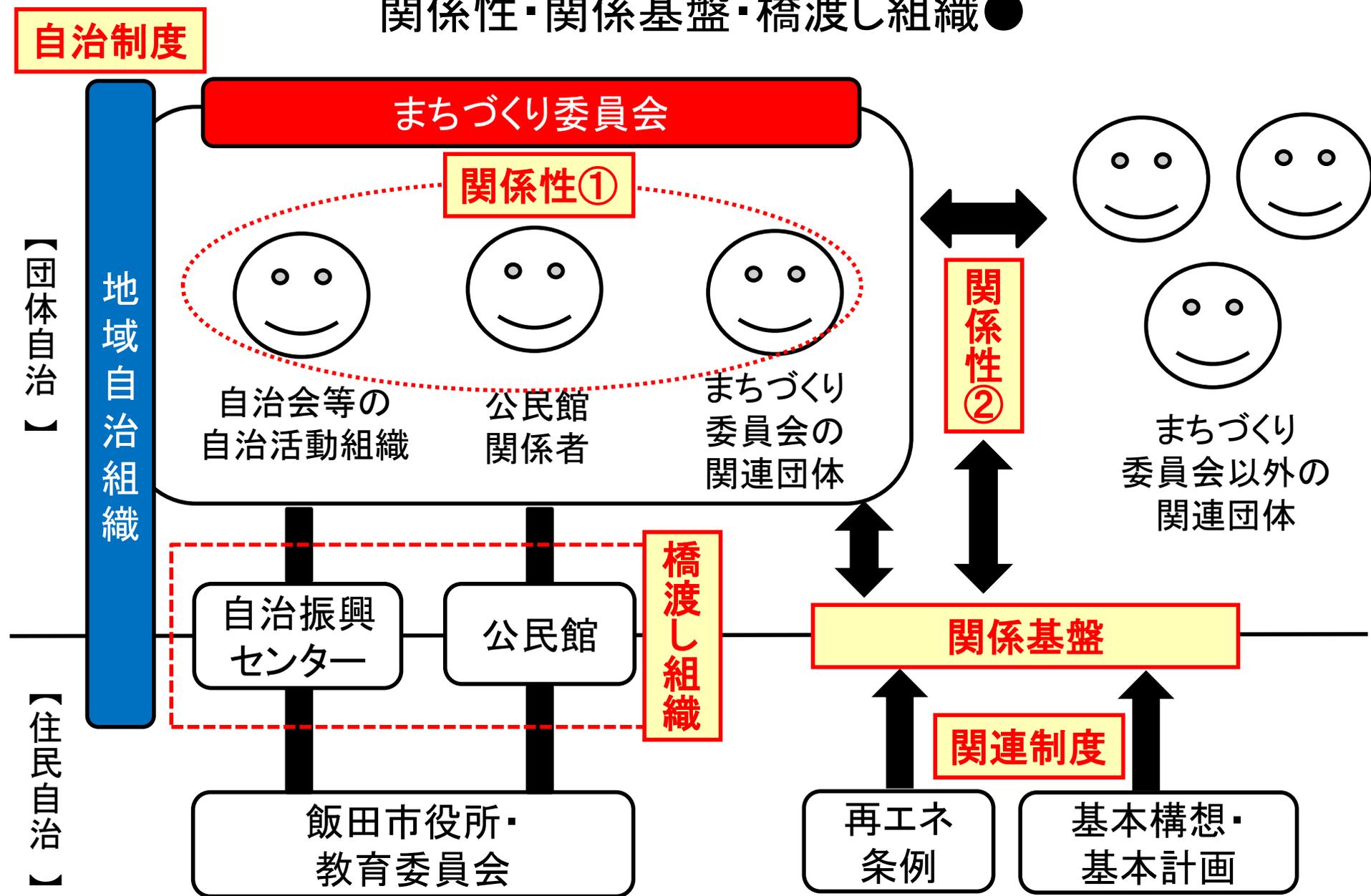
【出所】地方制度調査会（2003）「今後の地方自治制度のあり方に関する答申」、3～4ページより引用。

## ●地域自治区(一般制度)の導入自治体の現状●

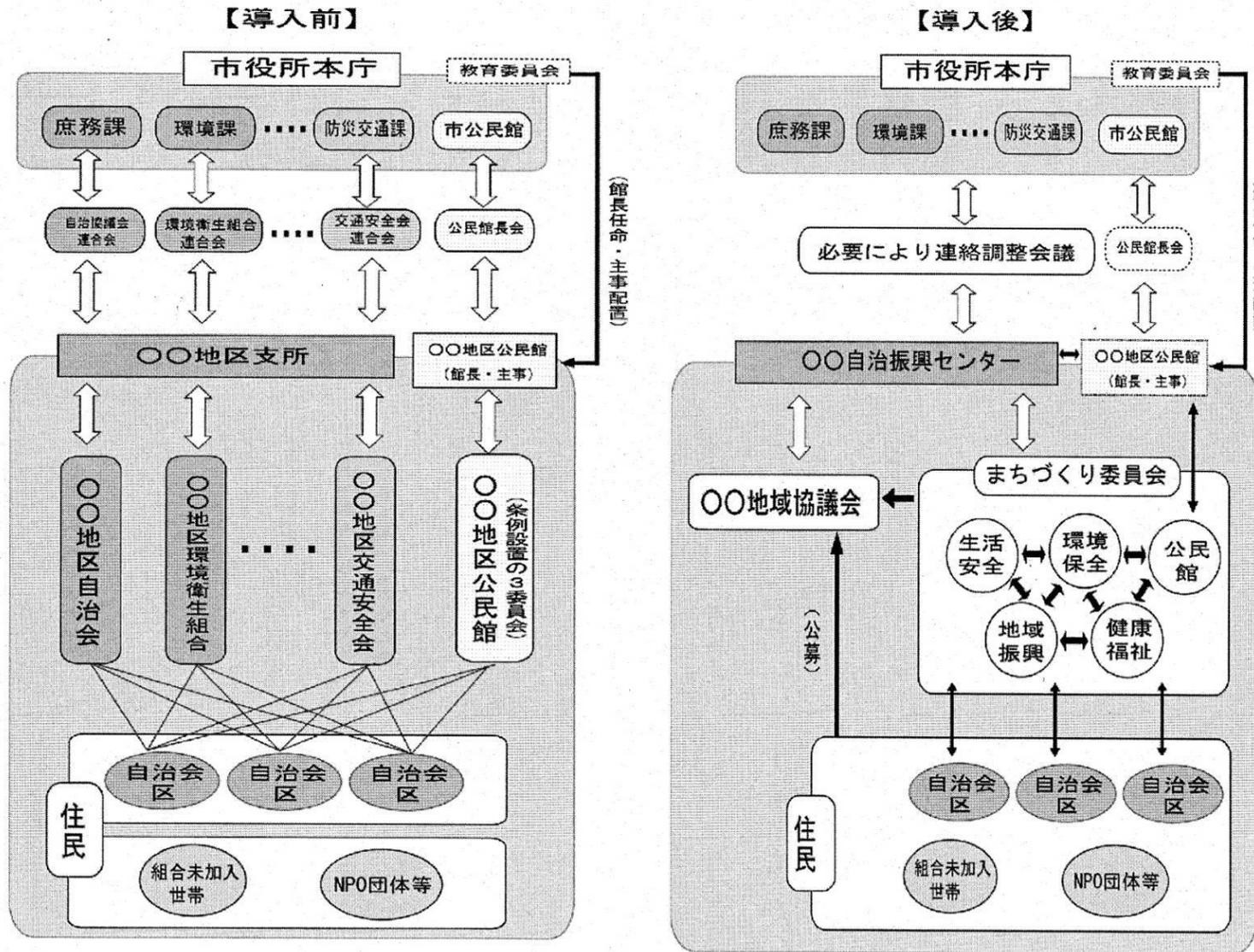


【出所】総務省「地域審議会・地域自治区・合併特例区一覧(平成28年4月1日現在)」より作成。

●本報告における分析枠組み：  
関係性・関係基盤・橋渡し組織●



# ●飯田市における地域自治組織導入前後の変化●



【出所】飯田市提供資料より転載。

## ●飯田市における地域自治組織の制度的特徴●

### 地域自治組織の構成

市の組織である**地域自治区**だけでなく、**住民組織であるまちづくり委員会を含めて地域自治組織**としている。そのうえで、**後者の位置づけが大きい**。

### まちづくり委員会の構成

自治会などの従来からの**自治活動組織をもとに選出された委員によって構成**されている。また、**地域に実情に合わせた専門委員会**を設けている。

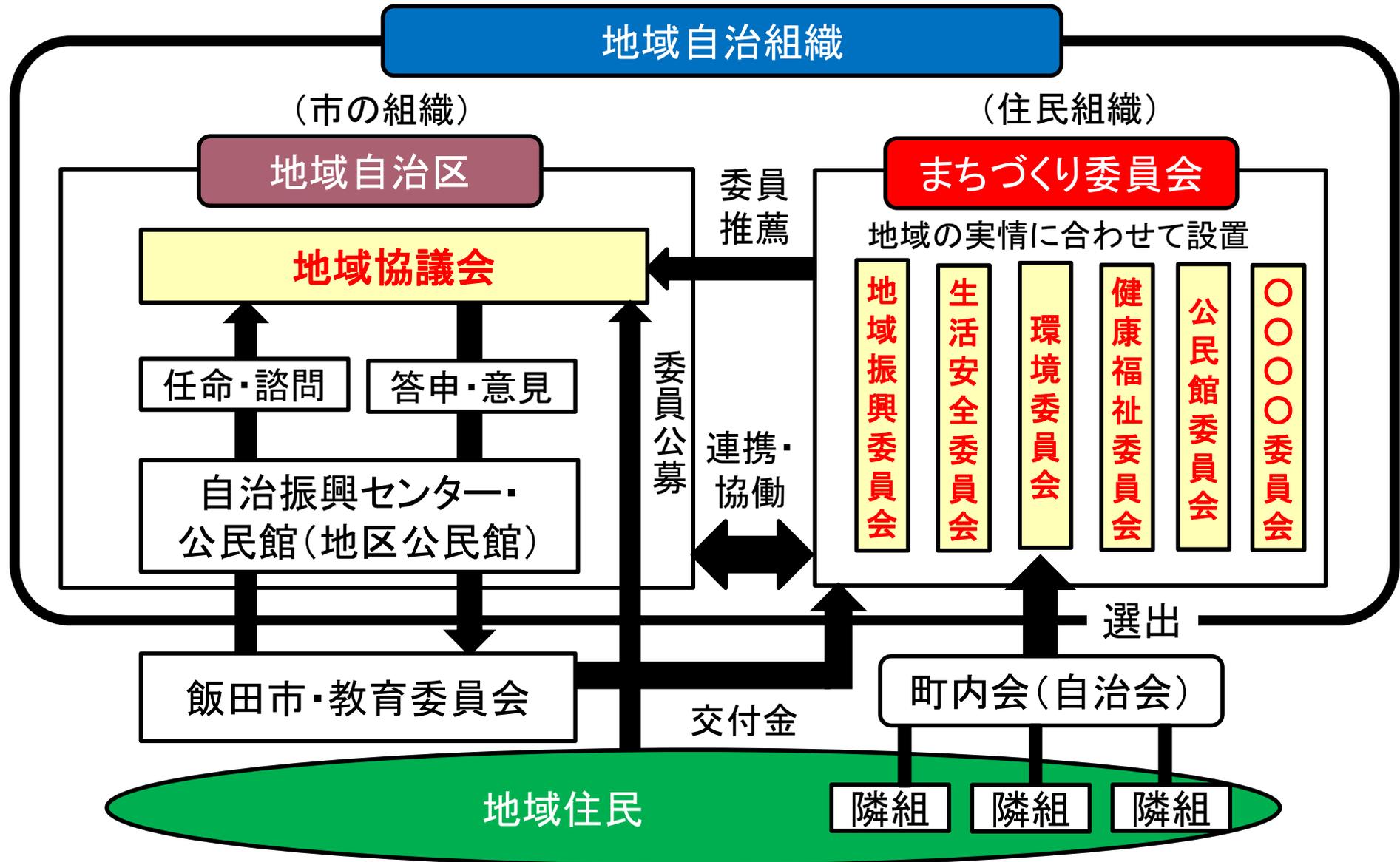
### 公民館の役割の大きさ

まちづくりの「飯田モデル」で重要な役割を果たしてきた公民館のうち、**地区公民館をまちづくり委員会のなかに組み入れている**。

### 自治振興センターの位置づけ

従来の支所を自治振興センターへと名称変更し、**地域協議会の事務局としてだけでなく、まちづくり委員会の事務局としても位置づけている**。また、**地区公民館に配置されている主事はセンターの職員を兼務している**。

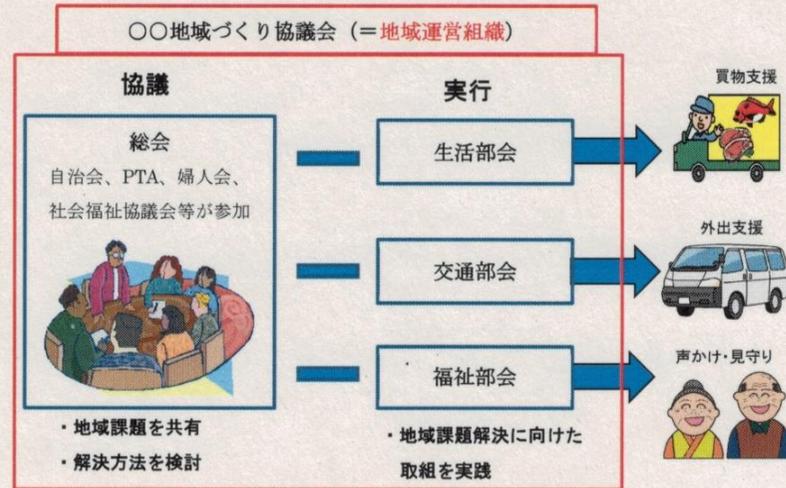
# ●飯田市における地域自治組織の仕組み●



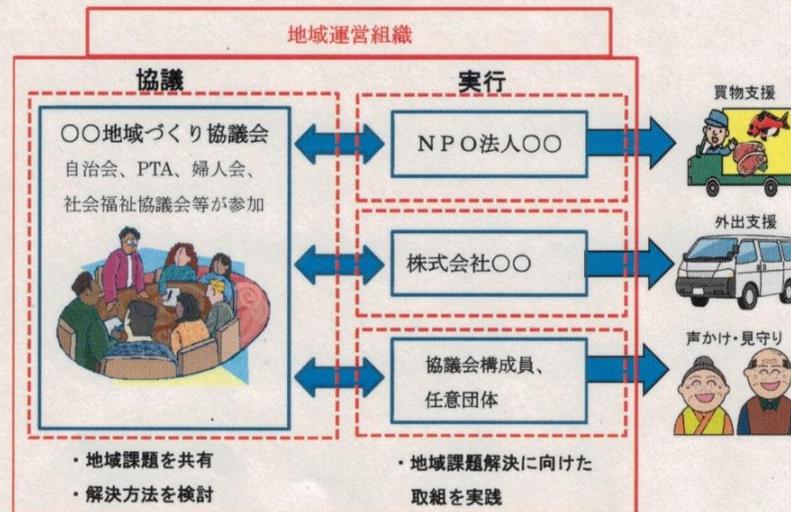
【出所】飯田市提供資料を一部修正して作成。

# ●地域運営組織の分類①●

## ■一体型のイメージ

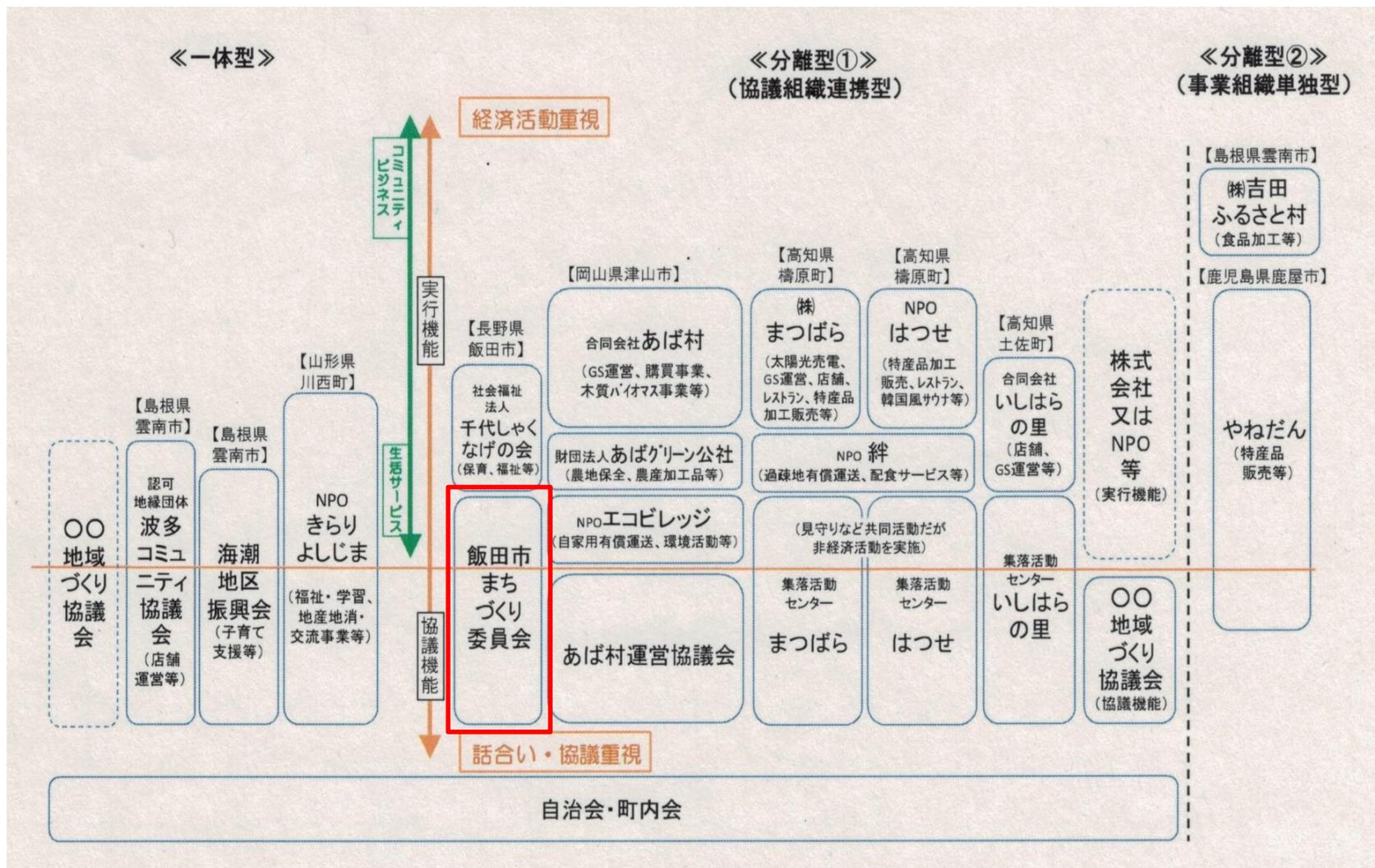


## ■分離型のイメージ



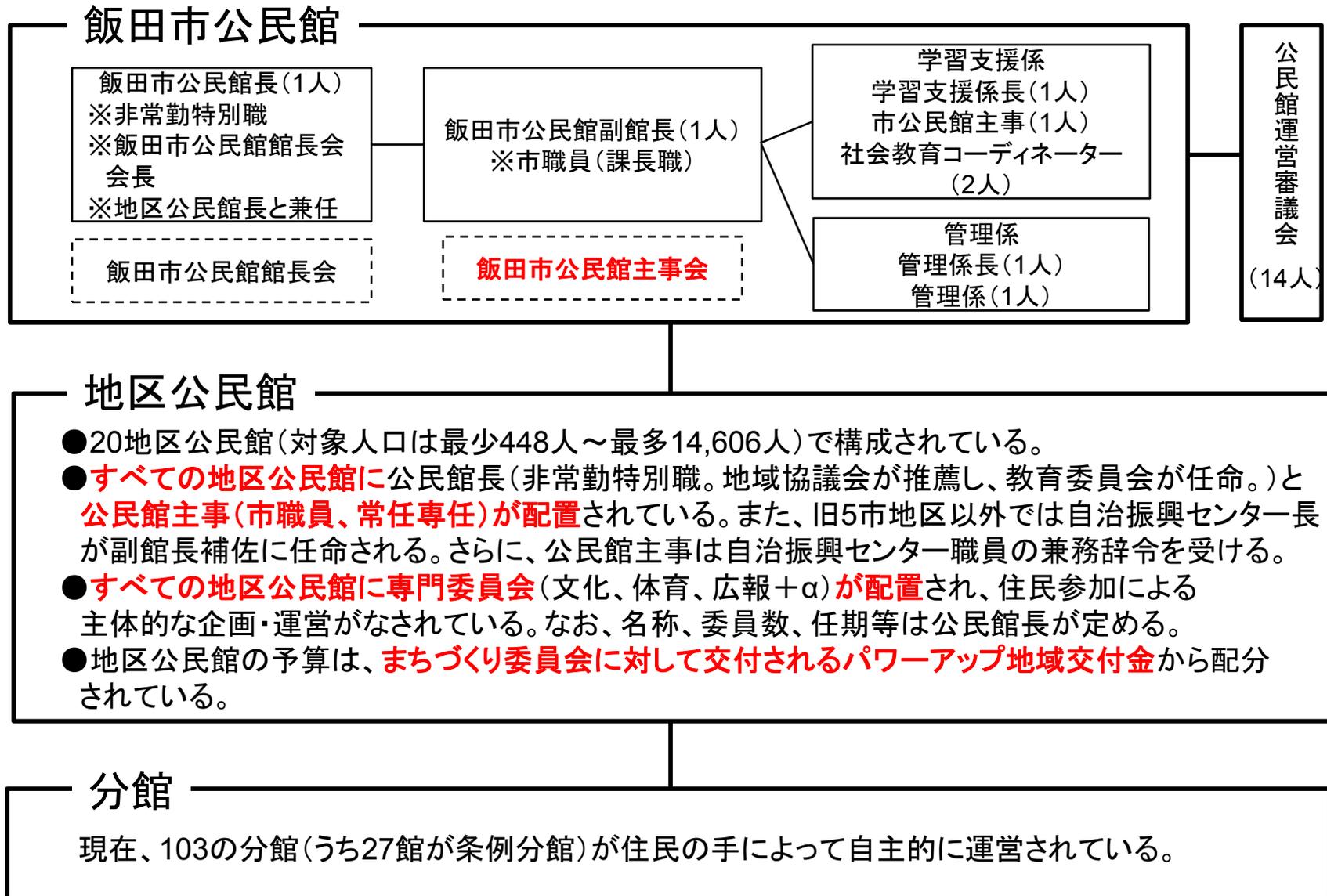
【出所】総務省地域力創造グループ地域振興室(2016)『暮らしを支える地域運営組織に関する調査研究事業報告書』、3ページより転載。

## ●地域運営組織の分類②●



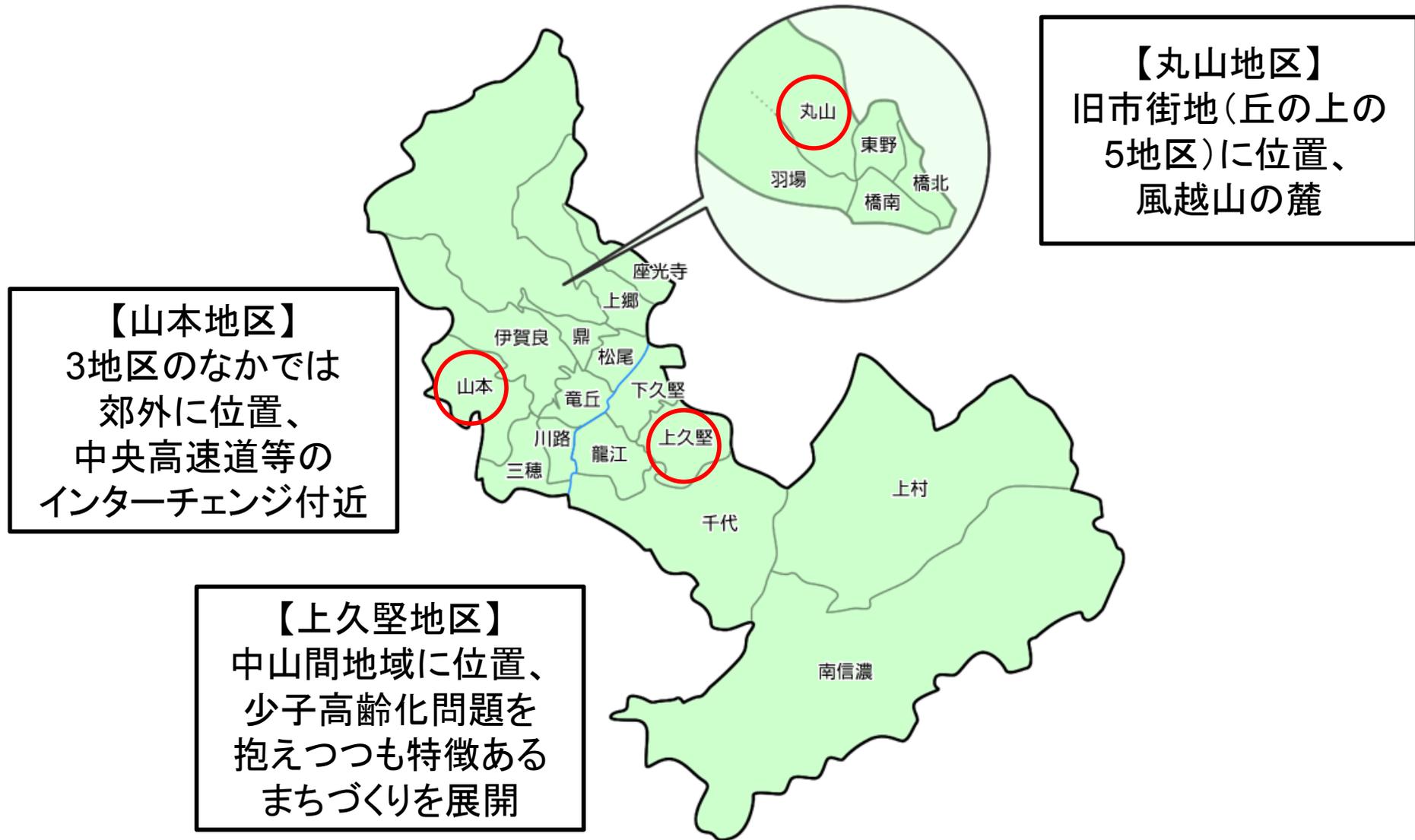
【出所】地域の課題解決のための地域運営組織に関する有識者会議(2016)『地域の課題解決を目指す地域運営組織—その量的拡大と質的向上に向けて— 最終報告』、4ページより転載。

# ●飯田市公民館の運営組織図●



【出所】飯田市公民館(2016)『平成27年度飯田市公民館活動記録』より作成。

## ● 今回の調査対象地区 ●



【出所】飯田市ホームページ (<https://www.city.iida.lg.jp/life/7/>) より転載。

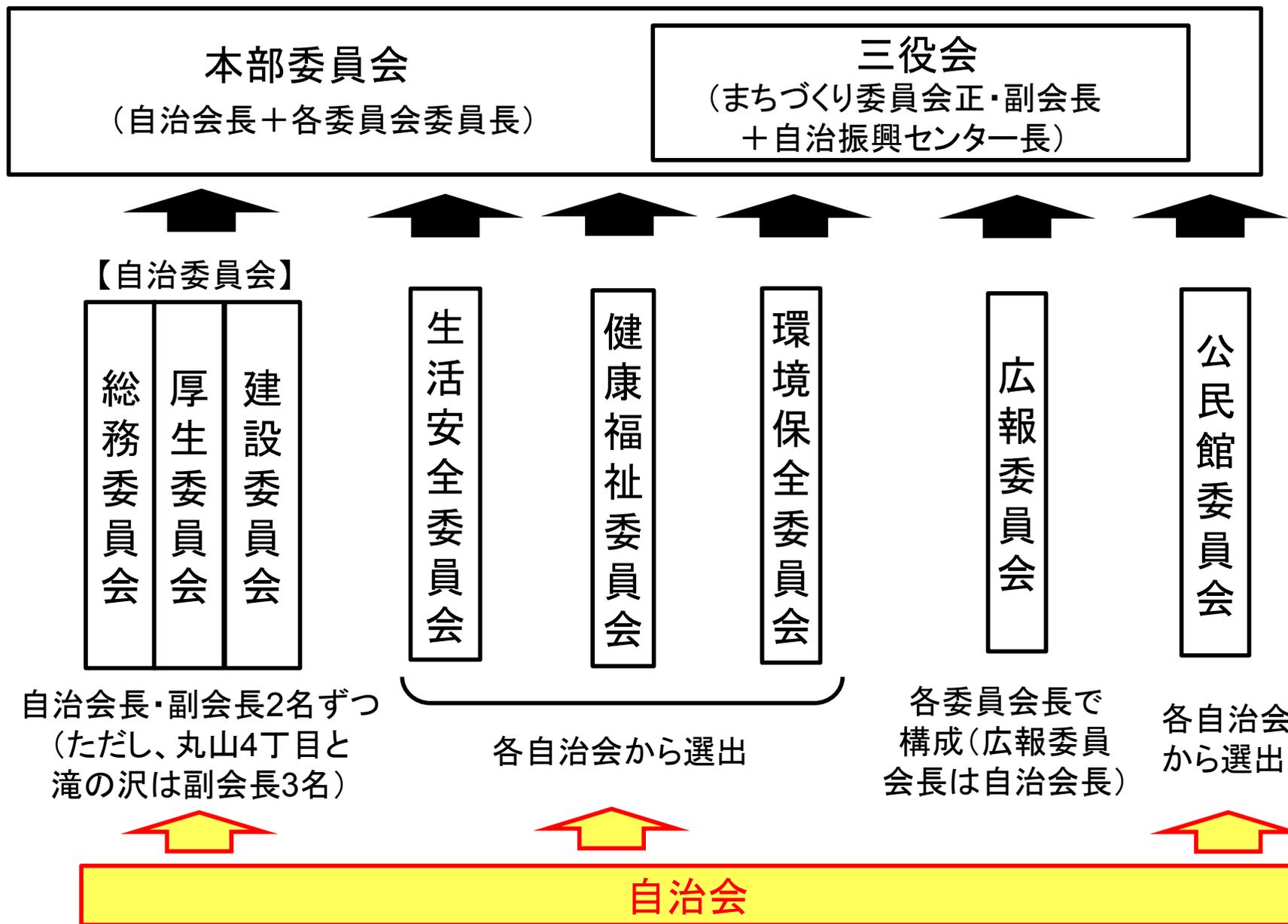
## ●調査対象3地区の基本情報●

項目	丸山地区	山本地区	上久堅地区	飯田市 平均
人口	3,600	4,978	1,399	5,214
世帯数 (1世帯あたり人口)	1,494 (2.41)	1,687 (2.95)	519 (2.70)	1,967 (2.65)
高齢化率	29.6%	29.5%	39.6%	29.3%
飯田市との合併年	—	昭和31年9月	昭和39年3月	—
<b>自治活動組織の単位 (まちづくり委員会関連)</b>	<b>12自治会</b>	<b>4区、31組合 (山本区7平)</b>	<b>13区、6分館</b>	—
<b>自治活動組織の 加入状況 (まちづくり委員会調)</b>	<b>88.8%</b>	<b>84.9%</b>	<b>98.9%</b>	74.3%

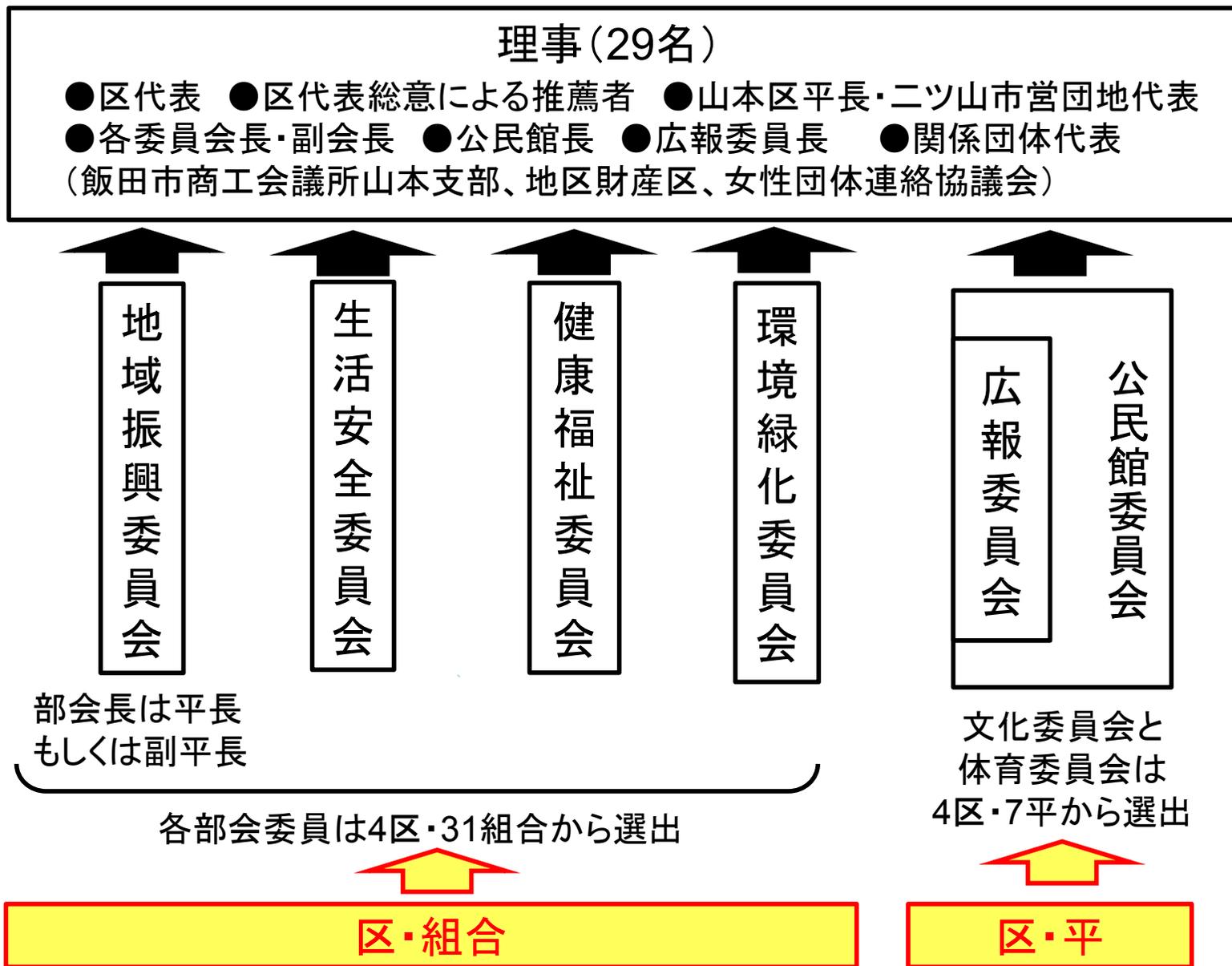
【注】人口と世帯数は平成27年、高齢化率は平成25年、自治活動組織の単位と加入状況は平成28年のデータ。  
ただし、加入状況の算定式は地区によって異なる部分がある。

【出所】飯田市提供資料およびヒアリング調査をもとに作成。

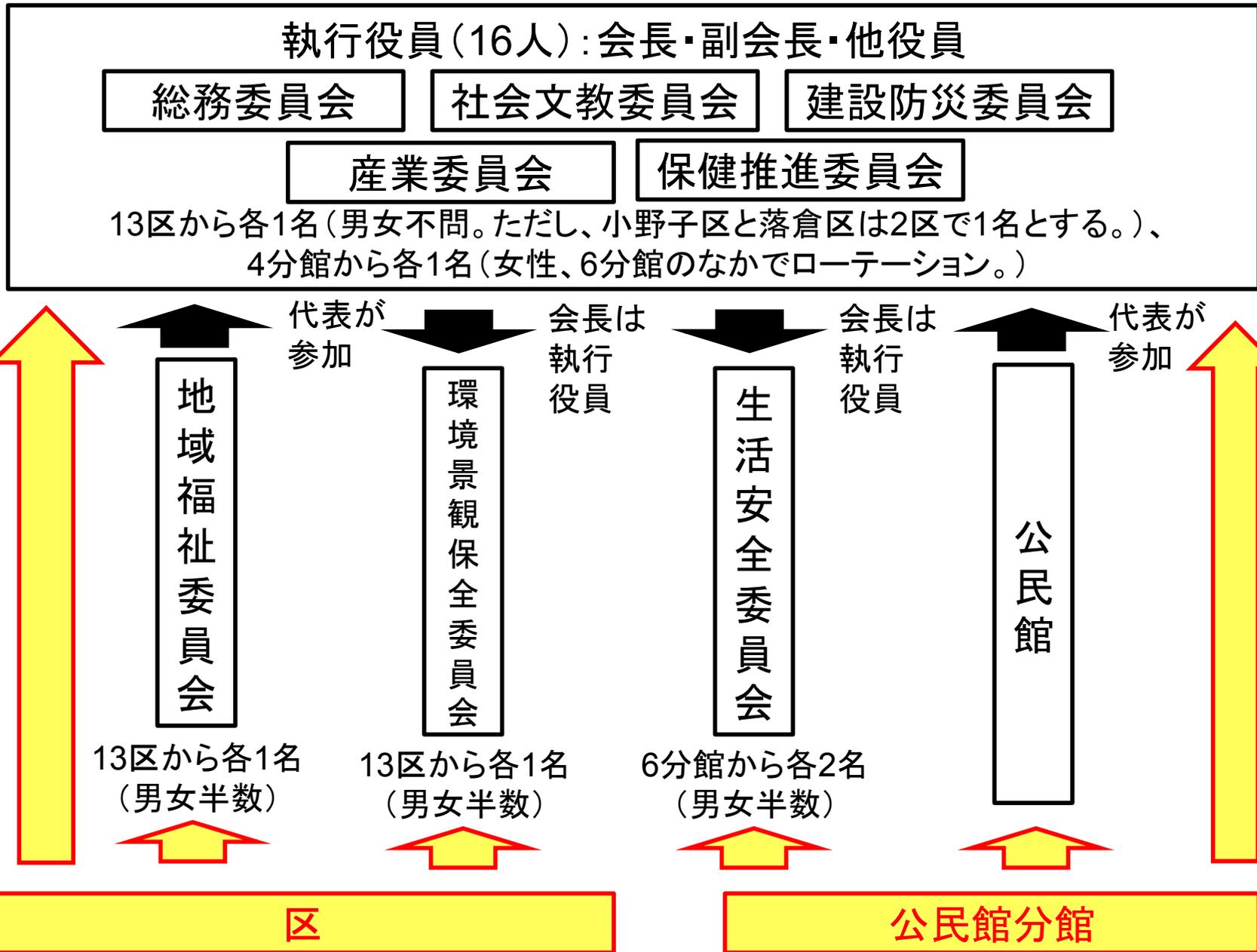
# ●丸山まちづくり委員会の組織図●



## ●山本地域づくり委員会の組織図●



# ●上久堅まちづくり委員会の組織図●



## ●まちづくり委員会のなかの関係性に関する諸特徴●

項目	丸山地区	山本地区	上久堅地区
組織の特徴	三役会	理事構成(地元経済団体も含む)	執行役員、女性選出も重視
各委員会委員の選出	12自治会から	4区・7平・31組合から	区および分館から
各委員会委員長の選出	生活安全、健康福祉、環境保全の各委員会、公民館については明確なルールなし	各委員会委員の互選(ただし、地域振興委員会は規程有り)	執行役員による互選(ただし、保健推進委員会長は会長指名)
まちづくり委員会会長の選出	選考委員会(退任予定の正副会長等で構成)で選出	全理事から選出(現状は区長<=理事>から選出)	執行役員による互選(ただし、全地区からの選出も可)
選出者の特徴	任期ごとに委員の多くが入れ替え、一部の委員長の在任期間が長期化	任期ごとに委員の多くが入れ替え	会長を含めた執行役員の影響大